

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（1）安定給水の確保

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
40,045,875	36,413,691	13,200,866	49,614,557	29,396,621	16,659,455	46,056,076

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①浄・給水場等の更新・整備					
ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進	○				
栗山浄水場給水場化に係る施設整備の推進	○				
自家発電設備の増強施設数			○		
②管路の更新・整備					
小口径管の更新延長		○			
大口径管路更新の実施				○	
基幹管路の整備の推進	○				

○主要施策の評価

達成状況	概ね達成している
3つの項目について「達成している（100点）」、1つの項目について「概ね達成している（90点）」、1つの項目について「未達成だが進展している（65点）」、1つの項目について「進展していない（25点）」と評価したことから、施策全体としては「概ね達成している（75点以上95点未満）」と評価しました。	
$\frac{100 \times 3 + 90 \times 1 + 65 \times 1 + 25 \times 1}{6} = 80$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 浄水場事故割合	0回	0回	達成している		
2. 管路の事故割合	管路100kmあたり1.0件以下	0.9件	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 浄水場事故割合	0回	0回	0回		
2. 管路の事故割合	0.8件	0.8件	0.9件		

【評価結果の説明・分析】
1. 浄水場事故割合については、浄水場事故が発生せず目標を達成したため、「達成している」と評価しました。
2. 管路の事故割合については、適切な維持管理等により目標を達成したため、「達成している」と評価しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 一部の事業について、入札不調や道路管理者等との協議に時間を要したことにより、進捗が遅れが見られました。自家発電設備の増強工事については、入札不調への対策として、発注規模の見直しなどを行い、発注業務を進めてまいります。 大口径管路更新工事については、令和5年度に未着手となった5路線6件のうち、3路線4件の工事については、これまで時間を要していた協議が整ったことから、令和6年度中の工事着手を見込んでいます。残り2路線2件の工事については、当初計画していた布設位置に道路管理者が管理している構造物が設置されたことなどから、引き続き、施工等に係る協議・調整を進めていきます。また、令和6年度以降に工事着手を計画している工事については、引き続き、道路管理者等と速やかに協議・調整を行うなど、計画的に実施できるよう努めていきます。 主要施策の評価については「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」と評価しており、遅れが生じているものの事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標は「達成している」となっており、主要施策の一部の事業ではC、D評価があるものの、全体で「概ね達成している」と評価しており、妥当と判断する。 ・基準に基づき、適切に内部評価をしているため妥当である。 ・妥当である。 ・妥当と判断する。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<p>・「自家発電設備の増強」について、令和6年度に全20施設の増強が完了する計画としていたが、令和6年度中の完了は困難とのことなので、令和7年度に予定がずれ込むという理解でいいか。 (局回答) 令和6年度中の完了は難しいため、令和7年度にずれ込む見込みである。工程管理等をしっかり行い、早期に完成するよう努める。</p> <p>・「大口径管路更新工事」について、協議に1年以上かかる場合もあるとのことだが、その期間を見込んだ上で計画を立てているのか。 (局回答) 大口径管については、既設水道管の上に他のライフライン管がある場合、どこに移設するか協議し、相手方も予算を確保した後、工事に入るため結構な期間を要する。よって、計画上に協議期間を見込んでいても、更に時間を要することがある。</p> <p>・成果指標「管路の事故割合」について、目標を達成しているものの、割合が前年と比べてわずかに増加しているため、再発防止に取り組んでいただきたい。 (局回答) わずかな増加であっても、しっかり対応していきたい。</p> <p>・成果指標「管路の事故割合」について、空気弁の玉からの漏水のような、メンテナンスで改善される軽微な漏水を本指標に入れるのが適切か、次期計画の策定にあたっては整理してほしい。</p> <p>・主要施策の評価(アウトプット)と成果指標の達成状況(アウトカム)にずれが生じている施策があるため、次期計画で改善するよう検討していただきたい。</p>	

≪基本目標 1≫ 「強靱」な水道の構築

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
37,415,928	34,406,978	12,199,662	46,606,640	27,202,751	15,674,504	42,877,255

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①浄・給水場等の耐震化の推進					
設備耐震化工事の実施	○				
②管路の耐震化の推進					
湾岸埋立地域の管路更新延長		○			
最重要給水施設管路の更新延長	○				
小中口径管の更新延長（再掲）		○			
大口径管路更新の実施（再掲）				○	
基幹管路の整備の推進（再掲）	○				
③停電・浸水対策等の強化					
自家発電設備の増強施設数（再掲）			○		
計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数	—				R4 年度で事業完了

○主要施策の評価

達成状況	概ね達成している
3つの項目について「達成している（100点）」、2つの項目について「概ね達成している（90点）」、1つの項目について「未達成だが進展している（65点）」、1つの項目について「進展していない（25点）」と評価したことから、施策全体としては「概ね達成している（75点以上90点未満）」と評価しました。	
$\frac{100 \times 3 + 90 \times 2 + 65 \times 1 + 25 \times 1}{7} = 81.43$	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	62.9%（令和5年度） 70.0%（令和7年度）	62.4%	概ね達成している		
2. 最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率	56.6%（令和5年度） 80.0%以上（令和7年度）	54.2%	概ね達成している		
3. 管路の耐震化率	27.9%（令和5年度） 30.0%（令和7年度）	27.8%	概ね達成している		
4. 浄・給水場の耐震化率	99.1%（令和5年度） 99.5%（令和7年度）	99.1%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 湾岸埋立地域における管路の耐震化率	55.3%	59.2%	62.4%		
2. 最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率	32.9%	40.5%	54.2%		
3. 管路の耐震化率	25.9%	26.9%	27.8%		
4. 浄・給水場の耐震化率	98.8%	98.8%	99.1%		

【評価結果の説明・分析】

1. 湾岸埋立地域の管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したものの、概ね目標を達成したため、「概ね達成している」と評価しました。

2. 最重要給水施設管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、令和5年度は計画した管路延長を更新したものの、目標とする耐震化率には届かなかったため、「概ね達成している」と評価しました。

3. 管路の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、一部入札不調となったことや道路管理者等との協議に時間を要したものの、概ね目標を達成したため、「概ね達成している」と評価しました。

4. 浄・給水場の耐震化率については、令和7年度の目標達成に向け事業を進め、計画どおり令和5年度の目標を達成したため、「達成している」と評価しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>一部の事業について、道路管理者等との協議に時間を要したことや入札不調により、進捗が遅れが見られました。大口径管路更新工事については、令和5年度に未着手となった5路線6件のうち、3路線4件の工事については、これまで時間を要していた協議が整ったことから、令和6年度中の工事着手を見込んでいます。残り2路線2件の工事については、当初計画していた布設位置に道路管理者が管理している構造物が設置されたことなどから、引き続き、施工等に係る協議・調整を進めていきます。また、令和6年度以降に工事着手を計画している工事については、引き続き、道路管理者等と速やかに協議・調整を行うなど、計画的に実施できるよう努めていきます。</p> <p>自家発電設備の増強工事については、入札不調への対策として、発注規模の見直しなどを行い、発注業務を進めてまいります。</p> <p>主要施策の評価については「概ね達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、遅れが生じているものの事業は進展していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当である。 ・適切に評価されており、妥当と判断する。 ・成果指標と主要施策の達成状況がほぼ一致し、整合している点も含め、妥当である。 ・妥当と判断する。
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<p>・「铸铁管更新工事」について、入札不調の改善策として、色々な契約形態を模索しながら進めていくのは大事なことである。原因分析を行いながら、しっかり進めていただきたい。</p> <p>・成果指標「最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率」について、令和7年度目標の「80%以上」は達成できる見込みか。 (局回答) 概ね計画どおり進めており、目標達成が困難な状況ではないが、現状、目標を下回っているため、計画の水準まで上げるよう努めていく必要がある。</p> <p>・成果指標「最重要給水施設管路（小中口径）の耐震化率」について、仮に残された期間の中で限られた箇所しかできないとなった場合、更なる絞り込みが必要となることも見据え進めていただきたい。 (局回答) 災害拠点病院、防災拠点等、どれも非常に重要な施設であるが、特に影響範囲が大きいところなど見定めて進めていきたい。</p>	

《基本目標 1》「強靱」な水道の構築

主要施策（3）危機管理体制の充実

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
684,720	694,844	0	694,844	100	690,726	690,826

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 緊急時に備えた体制の充実					
非常時対応訓練の実施、テーマ型訓練の実施、支援協力員との応急給水訓練の実施	○				
本局新庁舎（仮称）の建設	○				
② 給水区域内 11 市等関係機関との連携強化					
応急給水等連絡調整会議の実施	○				
給水区域内各市との合同訓練の実施	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 緊急時における給水体制	減・断水期間を 4 週間以内に抑える	超過件数：該当なし	達成している		
2. 各種訓練等の実施率	100%	100%以上	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 緊急時における給水体制	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし	超過件数：該当なし		
2. 各種訓練等の実施率	100%以上	100%以上	100%以上		
【評価結果の説明・分析】 1. 「緊急時における給水体制」については、超過件数の該当がなかったため、「達成している」としました。 2. 「各種訓練等の実施率」については、関係所属及び給水区域内各市と相互に調整した結果、「非常時対応訓練」、「テーマ型訓練」、「給水区域内各市との合同訓練」などの訓練実施率の目標を上回ることが出来たため、「達成している」としました。					

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし

主要施策評価シート

様式 2

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「達成している」となっており、妥当と判断する。 ・設定した目標に対して実績もクリアし、妥当と判断する。 ・妥当として問題ない。 ・妥当と判断する。内部評価は適切に評価されていると判断する。
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<p>なし</p>	

主要施策評価シート

様式 2

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（4）安全で安心な水づくり

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
4,502,141	4,043,877	1,362,492	5,406,369	4,021,325	1,249,481	5,270,806

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①水源の監視・保全					
水源調査回数	○				
②高度浄水処理の導入					
ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備の推進（再掲）	○				
③水質管理の徹底					
水安全計画の見直しの実施	○				
水道G L Pの認定維持	○				
水質検査計画の見直しの実施	○				
水質検査機器の更新の実施	○				
水質自動監視装置の更新の実施	○				
送配水管の計画洗浄延長	○				
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標		実績			達成状況	
1. 水道水における水質基準超過件数	0件		0件			達成している	
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
1. 水道水における水質基準超過件数	0件	0件	0件				
【評価結果の説明・分析】 水源の監視・保全や水質管理に係る各種取組を実施し、水源から蛇口に至るまでの水質管理を適切に行った結果、年間を通じて水道水の水質基準を遵守することができ、目標を達成しました。							

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は妥当である。 ・適切に評価が行われているので妥当である。 ・内部評価で適切に評価されているため、妥当である。 ・特に指摘事項もなく、妥当と判断する。
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<p>・「直結給水率」について、100%を目指すものではないというのは認識しているが、非常に細かい数値で各年度の目標が設定されているため、計画値として適切なのか違和感がある。次期計画の目標設定では、改善するよう検討していただきたい。</p> <p>・「水安全計画の見直し」に関連して、PFOS・PFOAについては、市民の関心が非常に高いので、水道水の安全性に問題がないことをしっかりとアピールしてほしい。</p>	

主要施策評価シート

様式 2

《基本目標 2》「安全」な水の供給

主要施策（5）おいしい水の供給

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
291,925	305,457	0	305,457	261,620	0	261,620

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①おいしい水の技術的な取組					
残留塩素の低減化試験等の実施	○				
送配水管の計画洗浄延長（再掲）	○				
貯水槽水道の適正管理啓発実施率、直結給水率（再掲）	○				
②おいしい水のお客様との取組					
イベント等 PR 活動の実施	○				
水質検査体験実施・開催回数、 おいしい水検定実施・開催回数、 おいしい水懇話会実施・開催回数	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 水道水の飲み水としての満足度	80%以上（令和 7 年度）	86%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 水道水の飲み水としての満足度	85%	84%	86%		
【評価結果の説明・分析】 成果指標については、「水道水の飲み水としての満足度」が目標の 80%を超え 86%と成果が出ていることから、「達成している」と評価しました。					

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 達成指標、成果指標ともに目標を達成し、順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議) における評価	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
	(特記事項) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主要施策、成果指標も達成しており、妥当と判断する。 ・達成状況、評価、今後の進め方について、妥当と判断する。 ・評価は妥当と判断する。 ・現行基準に沿って評価されており、妥当と判断する。
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「残留塩素低減化試験の実施」について、計画と実績が「試験の実施」となっており、定性的な指標で設定されているが、定量的な数値目標を掲げられないか。試験の実施が目的ではなく、残留塩素濃度を低くするのが最終的な目標であるため、次期計画ではできる限り数値目標を考えてもらいたい。 ・「主要施策（4）安全で安心な水づくり」が、トラブルなく水が蛇口から出てくるための取組項目だとすれば、味や水質の観点に加え、点検業務の指標があってもいいと考えるので、アイデアとして述べさせていただく。 ・「再掲」として、同じ指標が施策をまたがって出てきているものがある。次期計画では、なるべく「再掲」という項目が出てこないよう整理できないか検討してほしい。 	

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（6）お客様サービスの向上

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
363,972	373,138	0	373,138	345,816	0	345,816

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
①支払方法の多様化や手続き等のオンライン化					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況	○				
②「お客様の声」を活かした事業運営（広報・広聴の充実）					
アンケート情報収集割合	○				
業務改善数	○				
広報活動の改善状況	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 県水だより満足度	90.0%以上（毎年度）	89.2% （標本誤差を加味して 87.7%～90.7%）	達成している		
2. ホームページ満足度	80.0%以上（毎年度）	68.6% （標本誤差を加味して 66.6%～70.6%）	概ね達成している		
3. お客様サービス満足度	90.0%以上（毎年度）	92.6%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 県水だより満足度	87.1%	88.3%	89.2%		
2. ホームページ満足度	65.9%	65.8%	68.6%		
3. お客様サービス満足度	92.3%	92.3%	92.6%		

【評価結果の説明・分析】

1. 県水だより満足度については、広聴結果等を踏まえて、「わかりやすい文章表現」になるよう編集したほか、お客様に興味を持っていただけるよう紙面づくりの創意工夫を行い、実績値は 89.2%ですが、標本誤差の上限値を加味すると 90.7%となり、成果目標に達することができました。

引き続きお客様の声を活かした紙面づくりや、お客様に興味を持っていただけるようさらなる創意工夫を行い、満足度向上を図ります。

2. ホームページ満足度については、見やすいページ構成となるよう見出しの設置や、文章の要点をわかりやすいように強調する等の工夫を行うとともに、リンク切れの対応を実施し、改善を図りました。

しかし、実績値は 68.6%で、標本誤差を加味しても目標値を下回る結果となりました。

「今のままで特に問題ない」、「シンプルでわかりやすい」といった声がある一方で、「目的の場所にすぐ行けるようになってほしい」、「表現が堅い」、「文字や文章が多い。図やイラストが入っているとよい」、「子供にも分かりやすい動画を増やしてほしい」などの声が寄せられていることから、今後もホームページをご覧になるお客様の視点に立ち、わかりやすくお伝え出来るよう画像や動画、公式キャラクター「ポタリちゃん」を活用し、見やすいページの構成を工夫しながら、効果的なホームページづくりに取り組みます。

3. お客様サービス満足度については、インターネットモニターのアンケート調査において、県営水道に関するお客様サービス満足度（総合評価）を調査したところ、「満足」「やや満足」の回答率が昨年度に引き続き成果目標に達しており、各取組の成果が出ていると考えられます。

《参考 アンケートの標本誤差について》

県水だより満足度

- ・回答者数 433 人
- ・回答比率 89 %
- ・標本誤差 $100 \times 1.96 \sqrt{\{0.89(1-0.89)/433\}} = 2.93$ (誤差の半値 1.5%)
- ・実績値の誤差範囲 (実績値に標準誤差の半値を加味) $89.2 \pm 1.5\% = 87.7\% \sim 90.7\%$

ホームページ満足度

- ・回答者数 525 人
- ・回答比率 69%
- ・標本誤差 $100 \times 1.96 \sqrt{\{0.69(1-0.69)/525\}} = 3.98$ (誤差の半値 2.0%)
- ・実績値の誤差範囲 (実績値に標準誤差の半値を加味) $68.6 \pm 2.0\% = 66.6\% \sim 70.6\%$

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】	
<p>主要施策の評価については「達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関	(総合的な意見等)
(経営戦略会議)	自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項)
	なし

外部評価会議委員の評価	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A : 妥当である 5人 B : 概ね妥当である 0人 C : 不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の一つで「概ね達成している」となっているが、その他は「達成している」となっているため、評価は妥当だと判断する。 ・評価は適切に行われており、妥当である。 ・妥当である。 ・妥当と判断する。
評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<p>・成果指標「県水だより満足度」及び「ホームページ満足度」について、アンケート調査の実施にあたっては、結果の要因分析ができるように、地域、年齢、性別等の属性がわかるように調査するよう検討していただきたい。</p> <p>・広報の方法について、高齢者は紙媒体が基本になっている。一方で、新聞を取っている世帯も少なくなっているため、県水だよりなどの広報の方法等を工夫できるのであれば検討していただきたい。</p>	

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（7）大規模事業体の責務と社会貢献

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
523,722	498,030	0	498,030	369,987	0	369,987

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 県内水道の統合・広域連携 [※]					
—					—
② 環境負荷の低減に向けた取組					
再生可能エネルギー発電設備活用による発電量	○				
浄水発生土の再資源化率、 再利用可能な建設発生土の再資源化率、 建設副産物の再資源化率	○				
③ 国際貢献及び他事業体への技術支援					
海外水道事業体への技術支援	○				
県内水道事業体へ開放する研修講座数	○				

※ 本取組の検討主体は知事部局であることから、評価の対象からは除外します。

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 二酸化炭素排出量削減	3,300t-CO2/年（毎年度）	2,683t-CO2/年	概ね達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 二酸化炭素排出量削減	2,941t-CO2/年	2,979t-CO2/年	2,683t-CO2/年		
【評価結果の説明・分析】 太陽光発電やマイクロ水力発電による電力の削減、発生土のリサイクルなどにより二酸化炭素排出量削減を図りました。各取組により 2,683t-CO2/年の成果が得られましたが、目標には及ばなかったため、概ね達成しているとしました。来年度も引き続き二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。					

○今後の進め方

今後の進め方	継続
【評価結果の説明・分析】 主要施策は「達成している」、成果指標の達成状況は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題なく、妥当である。 ・評価は妥当である。 ・妥当である。 ・妥当と判断する。
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答</p>	<p>A : 妥当である 5人 B : 概ね妥当である 0人 C : 不十分である 0人</p>	<p>・「開発途上国の技術支援」について、JICA の要請を受け職員派遣をしているが、人件費は JICA からいくらかもらっているのか。 (局回答) 人件費は、局から職員に支給されているものの、JICA から応分の費用は補填されている。</p>

《基本目標 3》お客様からの「信頼」の確保

主要施策（8）運営基盤の強化

R5 年度最終予算額（千円）				R5 年度決算額等（千円）		
R5 当初予算額	R5 最終予算額	R4→R5 繰越	計	決算額	R5→R6 繰越	計
29,901,808	30,905,661	9,630,459	40,536,120	27,068,491	11,156,535	38,225,026

○主な事業の達成状況

項目	達成している	概ね達成している	未達成だが進展している	進展していない	備考
① 職員の育成・確保及び能力開発					
技術研修等講座数	○				
人材育成等を目的とした局独自の研修の実施、改善	○				
事業運営に必要な執行体制の確保	○				
② ICTや民間活力の活用による業務の効率化					
支払方法の多様化及び手続き、問い合わせ・御相談等のオンライン化の実施状況（再掲）	○				
ICT（情報通信技術）等の活用による業務の効率化に向けた検討	○				
配水管等整備工事に伴う施工管理業務の民間委託の実施	○				
③ システムの安定運用及びセキュリティ対策の強化					
情報システム等の整備件数	○				
情報セキュリティ研修等受講者数	○				
障害等への即日の初動対応率	○				
④ 健全経営の推進					
経費の削減	○				

○主要施策の評価

達成状況	達成している
主な事業に係る達成指標について、全ての項目で目標を達成したことから、施策全体として「達成している」と評価しました。	

○成果指標の達成状況

成果指標	目標	実績	達成状況		
1. 経常収支比率	財政収支見通しにおける数値以上（R5:110.6%）	108.1%	概ね達成している		
2. 自己資本構成比率	財政収支見通しにおける数値以上（R5:76.5%）	77.3%	達成している		
過年度実績	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1. 経常収支比率	112.1%	105.5%	108.1%		
2. 自己資本構成比率	79.2%	78.7%	77.3%		

【評価結果の説明・分析】

1. 経常収支比率

薬品費の増（6億円）があったものの、電気料金単価の減に伴う動力費の減（9億円減）や、料金システムのデータ移行業務の減などによる委託料の減（8億円）等により、経常費用は前年度と比較して11億円減の706億円となりました。経常収益についても、給水収益の増（3億円）等により、前年度と比較して6億円増の763億円となったことから、経常収支比率は前年度から2.6ポイント改善し、108.1%となりました。

一方、中期経営計画における目標との比較では、物価高や人件費の上昇等による経常費用の増のほか、新型コロナウイルス感染症の影響等による給水収益の減等により、経常収支比率は目標を2.5ポイント下回りました。令和5年度の経常収支比率は100%を上回ったものの、目標である110.6%を下回ったことから、「概ね達成している」と評価しました。

2. 自己資本構成比率

純利益を58億円計上したため資本は27億円増加したものの、企業債残高の増（180億円増）により負債は151億円増加しました。結果、自己資本構成比率は前年度から1.4ポイント悪化し、77.3%となりましたが、中期経営計画における

目標である 76.5%を上回ったことから、「達成している」と評価しました。

○今後の進め方

今後の進め方	継続
<p>【評価結果の説明・分析】</p> <p>主要施策の評価については「達成している」、成果指標の達成状況については、「達成している」又は「概ね達成している」と評価しており、施策全体としては概ね順調に進捗していることから、引き続き計画に沿って事業を実施していきます。</p>	

○内部評価機関 (経営戦略会議)	(総合的な意見等) 自己評価を妥当と認める
における評価	(特記事項) なし

外部評価会議委員の評価	<p>「主な事業の達成状況、主要施策の評価、成果、今後の進め方」についての評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に主要施策は「達成している」となっており、妥当と判断する。 ・評価結果について、妥当と判断する。 ・妥当である。 ・妥当と判断する。
外部評価会議委員の主な意見等及び局の回答	<p>・「技術研修等の講座数」について、計画の 22 講座よりも多く実施しており、柔軟性があっていいことである。一方で、研修の開催にあたっては費用も掛かると考えるが、講座数を計画よりも増やすというのは調整可能なのか。</p> <p>(局回答) 令和 5 年度に技術講座研修で増やしたのは「実務研修」である。例えば、他事業体で大口径管の工事現場があり、講習として現場を見させていただく分には費用が掛からないなどの工夫をしながら研修を増やしている。</p> <p>・工夫しながら研修を開催している点については、評価に加点していいぐらいの取組をされている。技術研修とは違うが、魅力ある職場や人材を総合的に育てていくなど、技術研修以外の研修も運営基盤の強化という点で重要と考える。</p> <p>・研修の実施により、こういった人材を育てたいのかなど、具体的な目標はあるか。</p> <p>(局回答) 5 か年の研修計画の中では、「水道技術者としての誇りと使命感及び責任感を持った職員」などを求める人材像として掲げている。今後も、工事の発注や維持管理が適切にできる技術者を育てていきたい。</p>	